

Job

Chapter 30

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

אבותם מאסתי אשר ליםימני צעירים עלי שחקו ועתה 1
父親たちの 私が-軽蔑した その 年-下の 私より 若い-者たちが 私を 嘲り-笑う しかし-今
H0001 H3117 H6810 H7832 H6258
צאני כלבי עם לשית
私の-羊の 犬たちと 共に 置くことさえ
H6629 H3611 H7896

しかし今はわたしよりも年若い者が、かえってわたしをあざ笑う。彼らの父はわたしが卑しめて、群れの犬と一緒にさえしなかった者だ。

גם- למה ידיהם כח גם- 2
また 何の-ために 彼らの-手の 力さえ
H1571 H4100 H3027 H3624 H0006
עלימו לי למה ידיהם כח גם-
彼らの-上に 私に 何の-ために 彼らの-手の 力さえ
H0006 H4100 H3027 H3624 H0006

彼らの手の力からわたしは何を得るであろうか、彼らはその気がすでに衰えた人々だ。

בחסר ובקפון נלמוד ידיהם כח גם- 3
欠乏と 飢えで やせ衰え 彼らの-手の 力さえ
H2639 H3720 H1565 H3027 H3624 H0006
ומשאח שואה אמש ציה הערקים נלמוד ידיהם כח גם-
廃墟の 荒廃と 昨夜の 荒野を かじる-者たち やせ衰え 彼らの-手の 力さえ
H4875 H0570 H6723 H6207 H1565 H3720 H2639

彼らは乏しさと激しい飢えとによって、かわいた荒地をかむ。

לקחם רתמים ושרש שיח עלי- מקוח הקטיפים 4
彼らの-食糧とした えにしだの そして-根を 茂みの 茂みの-傍らで 野草を 摘む-者たち
H3899 H7574 H8328 H7880 H4408 H6998

彼らは、ぜにあおいおよび灌木の葉を摘み、れだまの根をもって身を暖める。

כננב עלימו יריעו יגרשו נו מן 5
盗人の-ように 彼らに-対して 叫ばれた 追い出された 社会から 人々の-中から
H1590 H7321 H1644

彼らは人々の中から追いだされ、盗びとを追うように、人々は彼らを追い呼ばれる。

וכפים עפר חרי לשכן נחלים בערוץ 6
そして-岩の 土の 穴の-中の 住み 涸れ谷に 谷間の
H3710 H6083 H2356 H7931 H6178

彼らは急流の谷間に住み、土の穴または岩の穴におり、

יספחו חרול תחת ינהקו שיחים בין 7
集まった いらくさの 下に 叫び 茂みの 茂みの-間で
H2738 H8478 H5101 H7880 H0996

灌木の中にななき、いらくさの下に押し合う。

מן נכאו שם בלי בני גם נבל בני 8
追い出された 打たれて 者の-子ら 名の-ない 名も-ない また 愚かな 愚かな-者の-子ら
H5217 H8034 H1097 H1571 H5036

הארץ:
地から
H0776

יֵאָזְרֵנִי : כְּתָנִי כְּפִי לְבוּשִׁי יִתְחַפֵּשׂ כֹּחַ בְּרֵב־כֹּחַ 18
 私を-締めつける 私の-下着が 襟の-ように 私の-衣は 変えられる 力で 大いなる-力で
[H0247](#) [H3801](#) [H6310](#) [H3830](#) [H2664](#)

それは暴力をもって、わたしの着物を捕え、はだ着のえりのように、わたしをしめつける。

:וְאָפַר כְּעָפָר וְאֶתְמַשְׁלֵה לַחֲמֹר הֲרִנִי 19
 そして-灰の-ように 塵の-ように そして-私は-なった 泥の-中に 投げ込まれた
[H0665](#) [H6083](#)

神がわたしを泥の中に投げ入れられたので、わたしはちり灰のようになった。

:כִּי וְתִתְקַן עֹמְדִי תַּעֲנִי וְלֹא אֶלֶיךָ אֲשַׁנֵּעַ 20
 私を そして-あなたは-見つめる 私は-立っている あなたは-私に しかし-答えない あなたに 叫ぶ
[H0995](#) [H5975](#) [H3808](#) [H0413](#) [H7768](#)

わたしがあなたにむかって呼ばわっても、あなたは答えられない。わたしが立っていても、あなたは顧みられない。

:תִּשְׁטַמְנֵנִי יָדְךָ בְּעֹצֶם לִי לְאַכְזָר תִּהְפָּךְ 21
 私を-敵視する あなたの-手で 力-強い 私に-対して 残酷な-者に 変わられた
[H7852](#) [H3027](#) [H6108](#) [H0393](#) [H2015](#)

あなたは変って、わたしに無情な者となり、み手の力をもってわたしを攻め悩まされる。

:תְּשִׂאֵנִי אֶל- רוּחַ תִּרְכִּיבֵנִי וְתִמְגַּנְנִי |תְּשׂוּהָ| (תִּוְשִׁיָּהּ) 22
 持ち上げた 風の-上に 風に 私を-乗せ そして-溶かした 嵐の 知恵を
[H5375](#) [H0413](#) [H7307](#) [H7392](#) [H4127](#) [H7738](#) [H8454](#)

あなたはわたしを揚げて風の上に乗せ、大風のうなり声の中に、もませられる。

כִּי- יָדַעְתִּי מוֹת תִּשְׁבִּינִי וּבֵית מוֹעֵד לְכָל- 23
 まことに 私は-知っている 死に あなたは-私を-帰す そして-家に 定められた すべての-生ける
[H3045](#) [H4194](#) [H7725](#) [H4150](#) [H3605](#)

קִי
 者の

わたしは知っている、あなたはわたしを死に帰らせ、すべての生き物の集まる家に帰させられることを。

:אָךְ לֹא- בְּעֵי יִשְׁלַח- יָדְךָ אִם- כְּפִידוֹ לָהֶן שׁוּעַ : 24
 しかし 廃墟の-中で 伸ばさないか 手を 手を もし その-滅びの-中で 彼らが 叫ぶ-とき
[H0389](#) [H3808](#) [H1164](#) [H7971](#) [H3027](#) [H6365](#) [H3860](#) [H7769](#)

さりながら荒塚の中にある者は、手を伸べないであろうか、災の中にある者は助けを呼び求めないであろうか。

:אִם- לֹא בְּכִיתִי לְקֹשֶׁה- יוֹם עֲנָמָה נַפְשִׁי לְאַבְיוֹן : 25
 確かに 私は-泣いた 泣いた 苦しむ-者の-ために 日に 悲しんだ 私の-魂は 貧しい-者の-ために
[H1058](#) [H3808](#) [H7186](#) [H3117](#) [H5701](#) [H5315](#) [H0034](#)

わたしは苦しい日を送る者のために泣かなかったか。わたしの魂は貧しい人のために悲しみなかったか。

כִּי טוֹב קָוִיתִי וַיָּבֵא רָע וַאֲחִלָּה לְאוֹר וַיָּבֵא 26
 まことに 良いことを 私は-待ち望んだ しかし-来た 悪が そして-待ち望んだ 光を しかし-来た
[H0935](#) [H0935](#) [H0216](#) [H3176](#)

:אֶפְלֵ
 暗闇が
[H0652](#)

しかしわたしが幸を望んだのに災が来た。光を待ち望んだのにやみが来た。

עָנִי:	יָמֵי-	קָדְמֹנִי	דָּמוּ	וְלֹא-	רָחַחוּ	מֵעֵי	27
苦悩の	苦しみの日々が	迎えた-私を	止まない	そして-静まらない	煮えたぎり	私の-内臓は	
H6040	H3117	H6923		H3808	H7570	H4578	

わたしのはらわたは沸きかえて、静まらない。悩みの日がわたしに近づいた。

אַשְׁרָע:	בְּקֶהֱל	קָמָתִי	חַמָּה	בְּלֹא	הֵלַכְתִּי	קָדָר	28
叫んだ	会衆の中	立ち上がり	太陽の	太陽-なしに	私は-歩いた	暗く	
H7768	H6951		H2535	H3808	H1980	H6937	

わたしは日の光によらずに黒くなって歩き、公会の中に立って助けを呼び求める。

יַעֲנָה:	לְבָנוֹת	וְרֵעַ	לְתַנִּים	הָיִיתִי	אָח	29
娘たちの	だちょうの	そして-仲間と	ジャッカル	私は-なった	兄弟と	
H3284	H1323	H7453		H1961	H0251	

わたしは山犬の兄弟となり、だちょうの友となった。

חָרָב:	מָנִי-	חֶרֶה	וְעַצְמִי-	מַעֲלִי	שָׁחַר	עוֹרִי	30
熱の-ために	燃えた	熱で	そして-私の-骨は	剥がれ落ちた	黒ずみ	私の-皮膚は	
		H2787	H6106		H7835	H5785	

わたしの皮膚は黒くなって、はげ落ち、わたしの骨は熱さによって燃え、

בְּכִים:	לְקוֹל	וְעִנְבִי	כַנְרִי	לְאֶבֶל	וַיְהִי	31
泣く-者たちの	声に	そして-私の-笛は	私の-豎琴は	嘆きに	そして-なった	
H1058		H5748	H3658	H0060	H1961	

わたしの琴は悲しみの音となり、わたしの笛は泣く者の声となった。